

ジョリパットアルファ
JP - 100 シリーズ
マイルド プラスタ ランダム 仕上げ
施工の手引き

【初版】平成 22 年 4 月

アイカ工業株式会社
化成製品カンパニー

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー (モルタル下地の場合)	ジヨリハットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	135 ~ 180 m ² / 缶 (水希釈 50%の場合)
主 材	ジヨリハットアルファ JP-100 シリーズ 標準色 JP-100T (...数字) 特注色 JP-100 (...英字、 ...数字)	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg ^レ 缶	約 7 m ² / 缶

< 主な施工道具 >

- ・ ステンレスゴテ (剣先ゴテ)

< 下地調整 >

下地は、モルタルコテ押さえ (平滑) として下さい。

<マイルドプラスタ-ランダム仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS - 500	18kg
	清 水	9 ~ 18%
塗 布 量	0.15 ~ 0.2 kg / m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地に最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・ジョリパットを無希釈で0.9kg/m²となるようステンレスゴテにて平滑に塗布する。

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

・ジョリパットを約2kg/m²となるようステンレスゴテにて塗布する。

追いかけ (5分以内)

4. パターン付け

・配り塗りしたジョリパットが乾燥しないうちに、ステンレスゴテのエッジ部分に軽く力を入れ、コテを少し壁面から浮かすような感覚でジョリパットを扇状塗りのばしてパターン付けを行う。(図-1)
・扇状の模様が規則正しくそろわないよう気を付ける。(図-2、3)

<施工のポイント>

- ・ 壁面に対しコテの片側を少し浮かすようにして、コテを滑らせパターンを付けます。

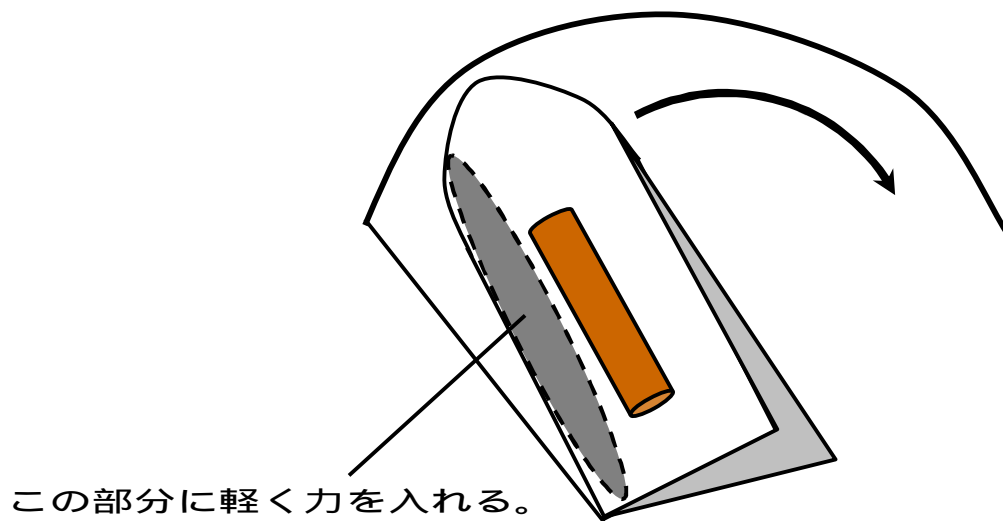


図 - 1

- ・ 扇状の様子が規則正しくならないよう(図 - 3) パターン付け始めのコテの角度を変える。

下図のような順番でパターンを付けます

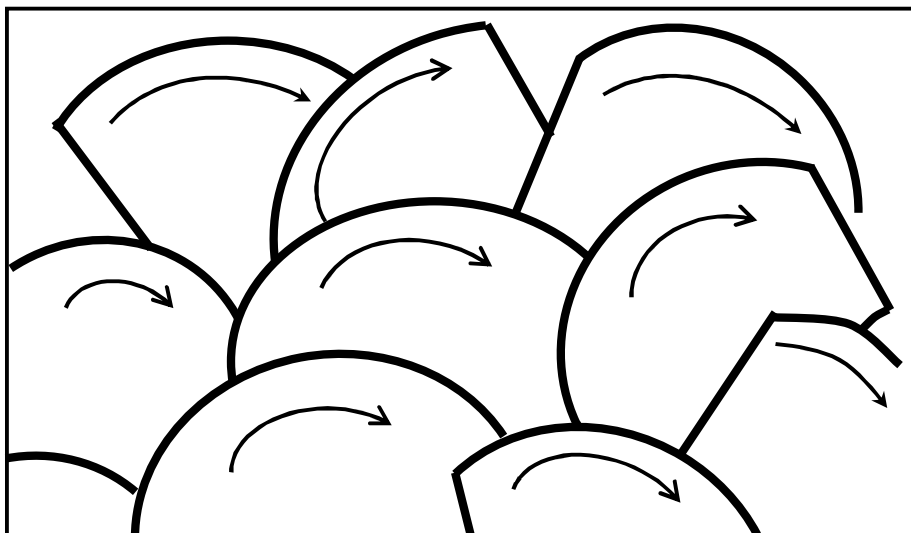


図 - 2

半径10cm ぐらいの扇を描くように
ランダムにパターンを付けます。

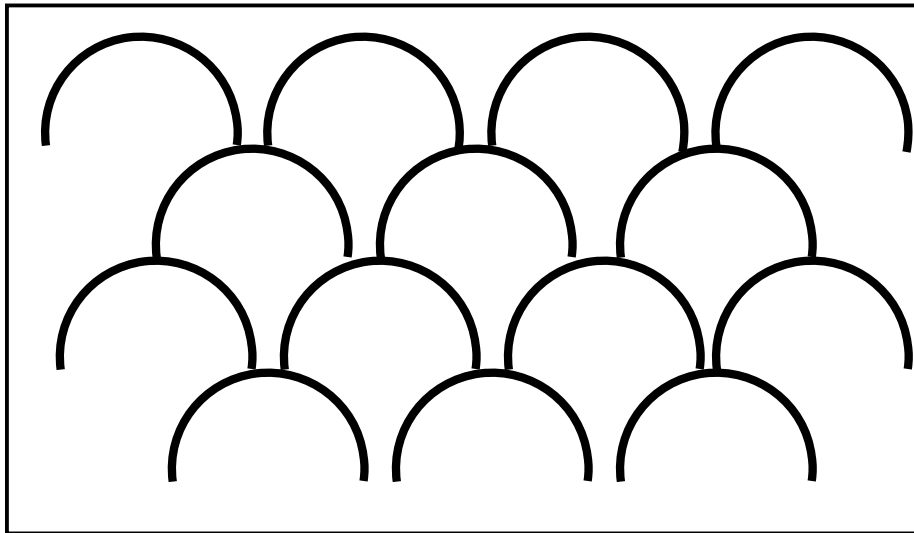
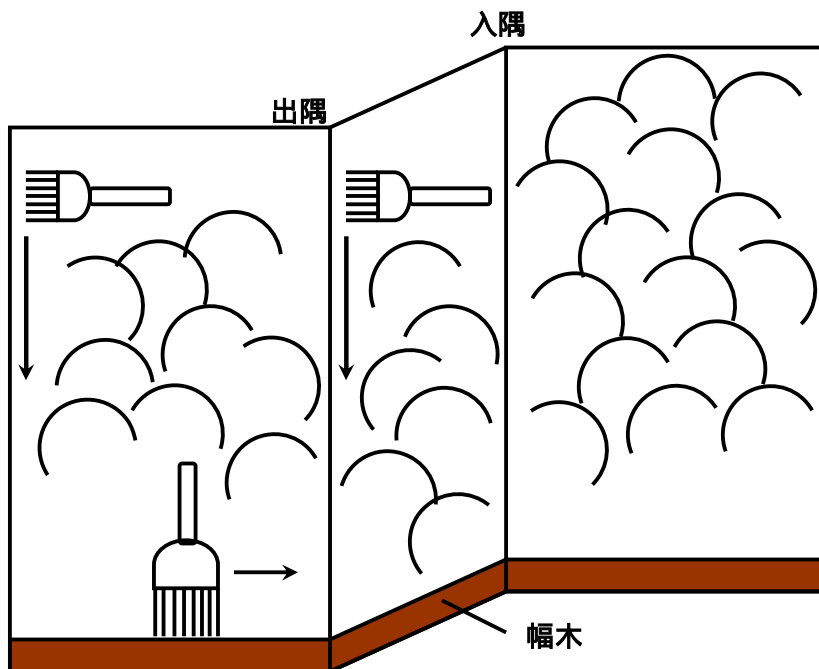


図 - 3

入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、ジョリパットが乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。（図 - 4）



刷毛で押さえる工法

図 - 4

< 施工の注意事項 >

- ・ 塗布量が少ないと透ける場合があります。十分注意して施工して下さい。
- ・ コテの大きさや形状によってパターンは多少異なります。
- ・ 何度もパターンの手直しをすると、ジョリパットが乾燥して皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ 攪拌容器及び攪拌機は、きれいなものを使用してください。鉄粉等が混入すると変色の原因になります。
- ・ コテは必ずステンレス製のものを使用し、使用後は直ちに水で洗い流してください。(コテに樹脂がついたまま放置すると錆が発生します。錆のついたコテで施工すると、壁面に錆が付着し、変色の原因となります。)
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への施流は避けてください。

以 上